

2024年度決算および中計進捗説明会

2025年5月28日

【証券コード 4401】



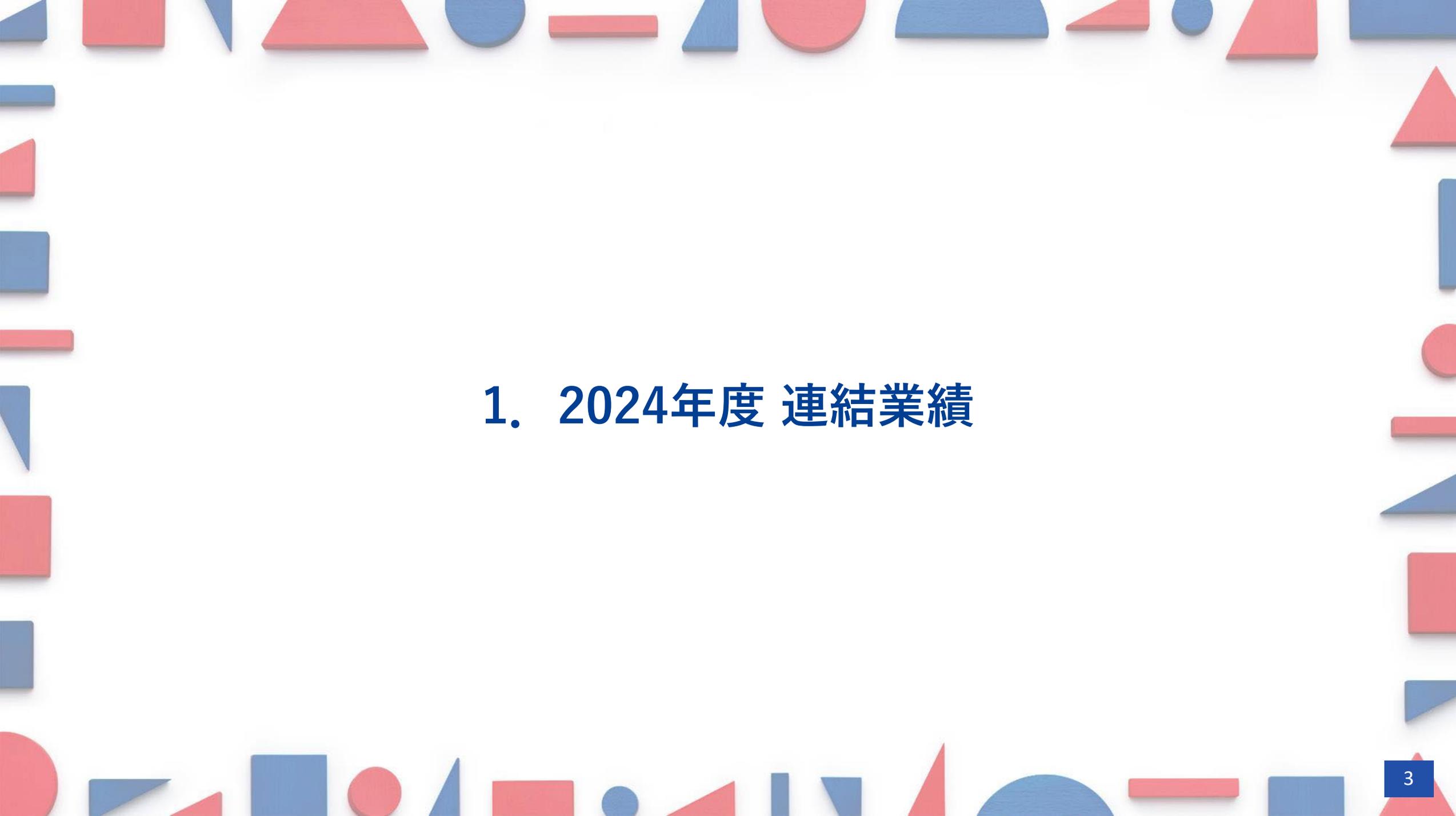
2024年度 決算説明

通期

2024年4月1日～2025年3月31日

代表取締役社長兼社長執行役員
城詰 秀尊

1. 2024年度 連結業績 … P 3
2. 2025年度 連結業績予想 … P13
3. 中期経営計画『ADX 2026』の進捗 … P25

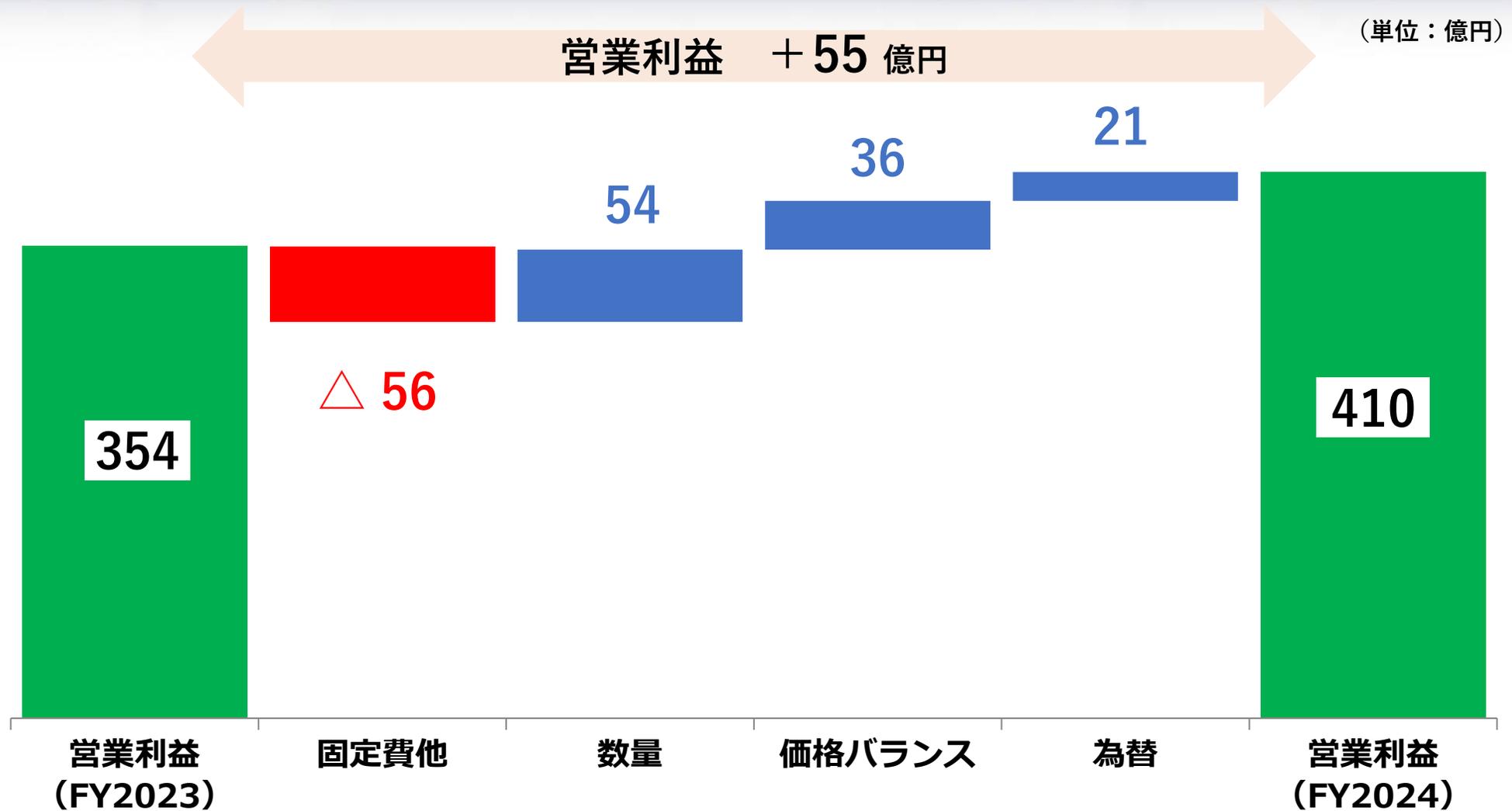
A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

1. 2024年度 連結業績

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増減	増減率 (%)
売上高	3,997	過去最高更新 4,071	73	1.8
営業利益	354	過去最高更新 410	55	15.8
経常利益	357	過去最高更新 393	35	10.0
当期利益	229	過去最高更新 250	20	8.9
1株利益	224.9円	245.6円	20.7	

注1) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

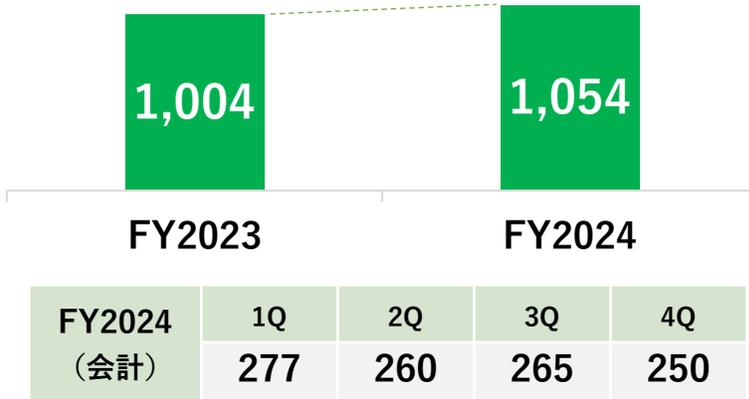
2024年度 連結業績（セグメント別）

(単位：億円)	2023年度	2024年度	増減	増減率 (%)
売上高	3,997	4,071	73	1.8
化学品	2,041	2,184	142	7.0
樹脂添加剤	1,004	1,054	49	4.9
電子材料	390	419	29	7.6
環境材料	646	710	63	9.9
食品	840	825	△ 14	△ 1.8
ライフサイエンス	1,030	999	△ 30	△ 3.0
その他	86	62	△ 23	△ 27.7
営業利益	354	410	55	15.8
化学品	236	280	43	18.3
樹脂添加剤	79	108	28	36.2
電子材料	97	100	2	2.2
環境材料	59	71	12	20.7
食品	41	43	2	6.8
ライフサイエンス	59	77	18	31.5
その他	17	8	△ 8	△ 52.0

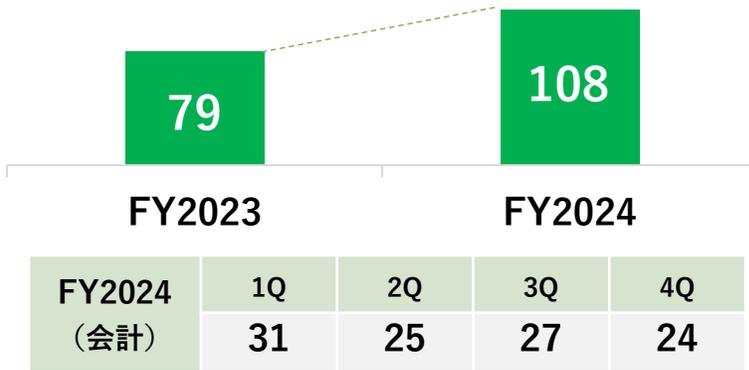
注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示して表示

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高 4.9% (単位：億円)



◆ 営業利益 36.2% (単位：億円)



売上高の主な要因（対前期）

- ・市場での樹脂生産が回復基調で推移し、家電筐体向け難燃剤の販売好調
ワンパック顆粒添加剤の販売堅調
- ・自動車用途のエンジニアリングプラスチック向け酸化防止剤の販売好調

◆ 家電製品

好 調 家電筐体向け 難燃剤

◆ プラスチック製品全般

堅 調 ワンパック顆粒添加剤

◆ エンジニアリングプラスチック（自動車の内外装部材ほか）

好 調 酸化防止剤

営業利益の主な要因（対前期）

価格バランス
20億円

数 量
13億円

為 替
7億円

固定費他
△ 12億円

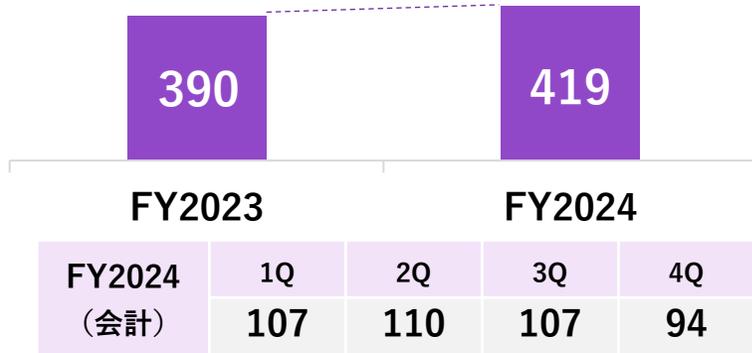
注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

化学品事業（電子材料）

◆ 売上高

（単位：億円）

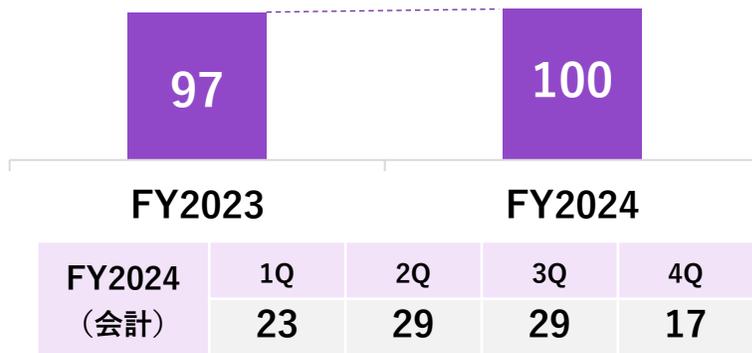
7.6%



◆ 営業利益

（単位：億円）

2.2%



売上高の主な要因（対前期）

- ・生成AI関連の需要拡大が続くなか、先端メモリ向け高誘電材料の販売好調、先端フォトレジスト向け半導体リソグラフィ材料の販売堅調
- ・ディスプレイ向けでは、中国や台湾でブラックマトリクスレジストの販売拡大

◆ 半導体

好調

先端DRAM向け 高誘電材料

堅調

先端フォトレジスト向け 半導体リソグラフィ材料

◆ ディ스플레이

好調

カラーフィルター向け ブラックマトリクスレジスト

低調

液晶パネル向け エッチング薬液

営業利益の主な要因（対前期）

数量

20億円

為替

2億円

価格バランス

△ 11億円

固定費他

△ 9億円

注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示。

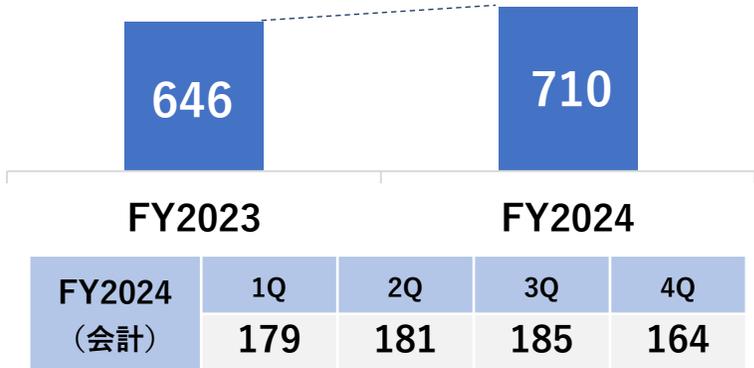
半導体リソグラフィ材料: 光酸発生剤と周辺材料。

化学品事業（環境材料）

◆ 売上高

（単位：億円）

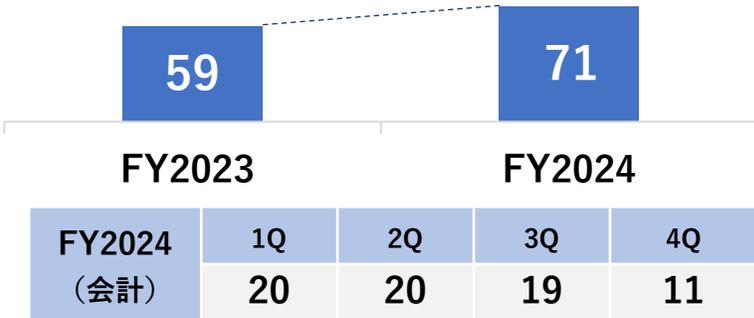
9.9%



◆ 営業利益

（単位：億円）

20.7%



売上高の主な要因（対前期）

- ・ハイブリッド車向けや東南アジアの二輪車向けで、エンジンオイル用潤滑油添加剤の販売好調
- ・インドや中国の建築塗料向けで反応性乳化剤の販売好調

◆ 自動車

好調 エンジンオイル用潤滑油添加剤

好調 構造用接着剤向け エポキシ樹脂

◆ 建築・インフラ／食品ラベル等

好調 塗料・接着剤向け 反応性乳化剤

◆ エレクトロニクス関連

好調 電子・電装機器向け エポキシ樹脂

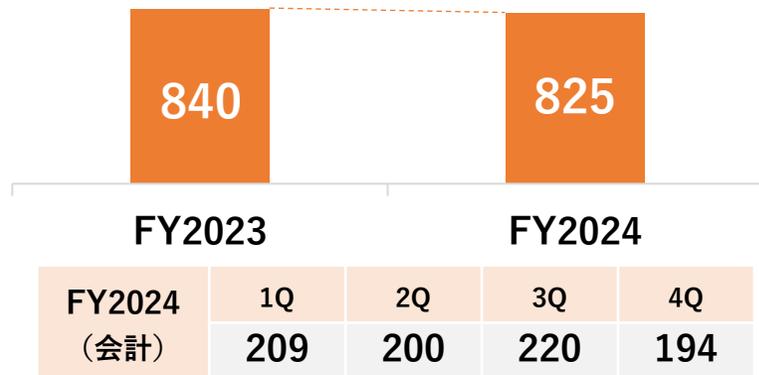
営業利益の主な要因（対前期）

数量
13億円為替
8億円固定費他
△ 8億円価格バランス
△ 1億円

注）金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

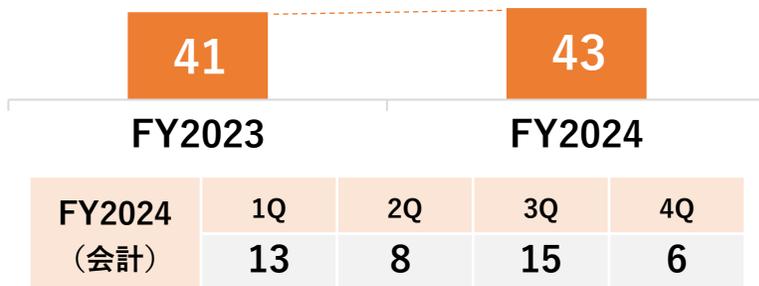
◆ 売上高 (単位：億円)

△ 1.8%



◆ 営業利益 (単位：億円)

6.8%



売上高の主な要因 (対前期)

- ・ 子会社再編の影響、中国での販売低調により減収
- ・ 東南アジアで機能性油脂の販売好調
- ・ 国内中心に機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ、プラントベースフード「デリプランツ」シリーズの販売好調

◆ 製パン・製菓

好調

練り込み油脂

機能性マーガリン「マーベラス」シリーズなど

◆ 製パン・カフェなど

好調

プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因 (対前期)

価格バランス
7億円

数量
1億円

固定費他
△ 6億円

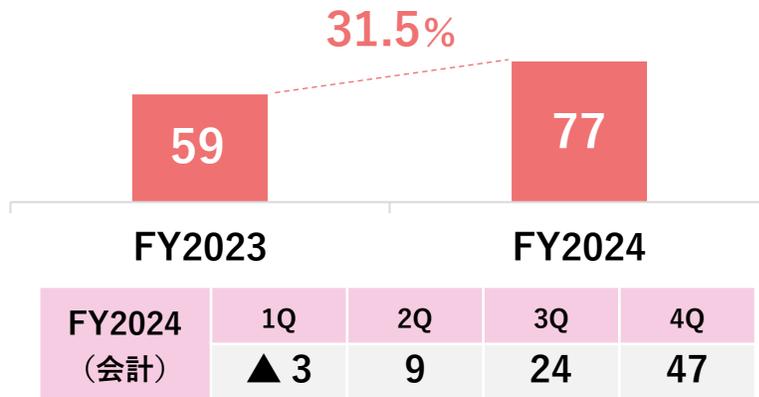
注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高 △ 3.0% (単位：億円)



◆ 営業利益 (単位：億円)



売上高の主な要因（対前期）

- ・天候不順の影響により、インドで農薬全般の販売低調
- ・医薬品は、国内の爪白癬向けで需要が減少し、外用抗真菌剤の販売低調

◆ 農薬

低調 インド（農薬全般）

好調 北米（除草剤）
欧州（殺ダニ剤）

堅調 ブラジル（殺菌剤など）

◆ 医薬品

低調 爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業利益の主な要因（対前期）

価格バランス
22億円

数量
3億円

為替
3億円

固定費
△ 11億円

注）金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

お知らせ | 組織改定に伴うセグメント変更

2025年4月付「電子材料」を「半導体材料」に改組

2025年度 第1四半期決算から「新セグメント」にて開示

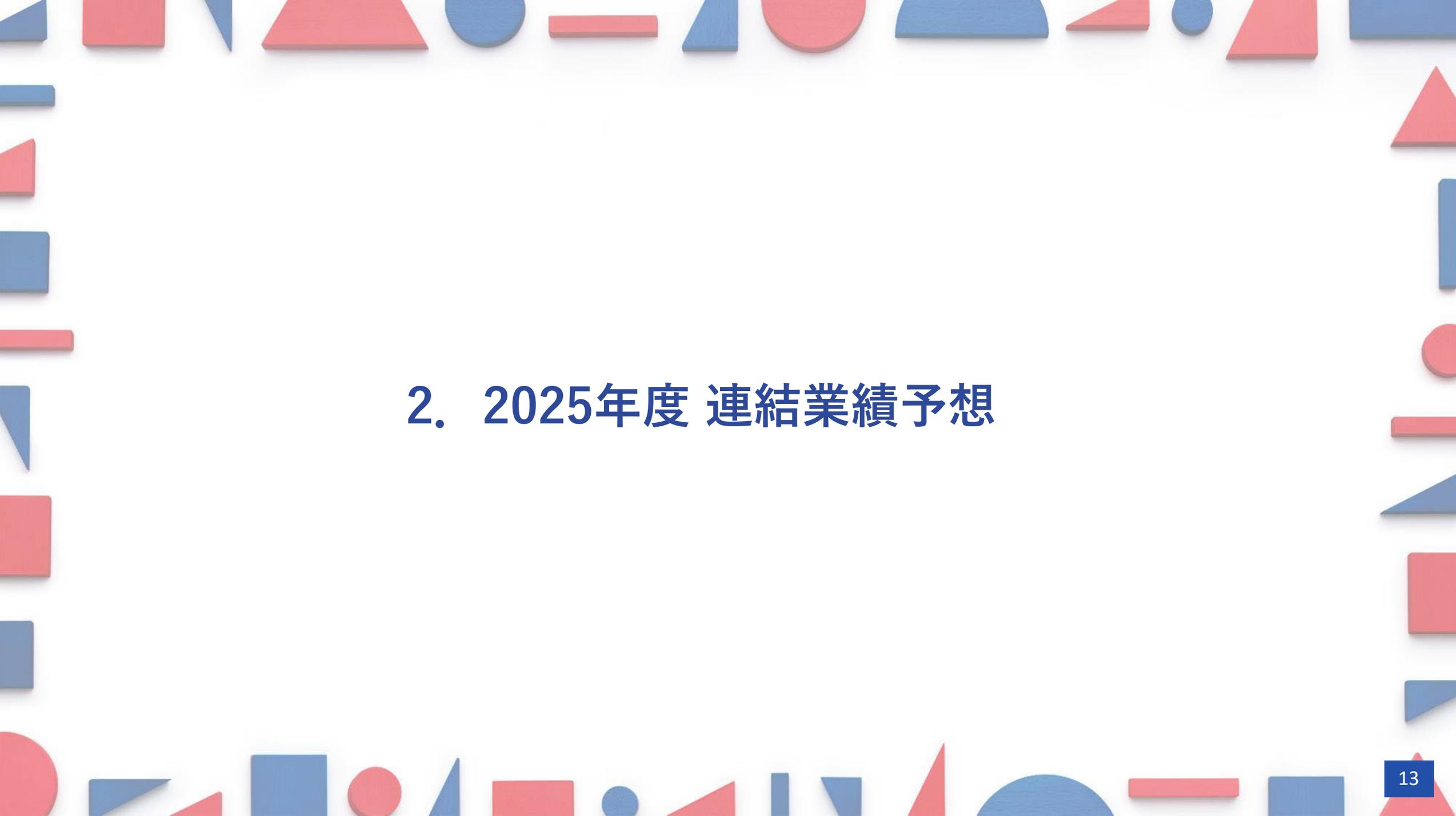
■ ご参考：「2024年度実績」についての新旧セグメント差異

< 新セグメント >

セグメント	売上高	営業利益
樹脂添加剤	1,054	108
半導体材料	340	90
環境材料	789	80
食品	825	43
ライフサイエンス	999	77

< 旧セグメント >

セグメント	売上高	営業利益
樹脂添加剤	1,054	108
電子材料	419	100
うちエレクトロニクス関連他	79	9
環境材料	710	71
食品	825	43
ライフサイエンス	999	77

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

2. 2025年度 連結業績予想

世界経済

低成長ながらも底堅い成長が続く見通し
一方、米国の関税政策をめぐる市場・サプライチェーンへの影響は不透明

セグメント	化学品				食品		ライフサイエンス
マーケット	自動車	建築 インフラ	半導体	ディスプレイ	量販店 コンビニ	観光・外食	農業
市況見通し							
	先行き不透明だが 緩やかな回復見込	需要は横ばい 資材価格高騰	生成AI向けが 成長牽引	中国での 生産拡大	商品の小容量化 節約志向続く	インバウンド 需要は好調	食料需要拡大

米国の関税政策に関して

米国子会社の売上高

およそ 400 億円

● 化学品 ● ライフサイエンス

	製造	販売
ADEKA USA CORP.		●
AMFINE CHEMICAL CORP.	●	●
AM STABILIZERS CORP.	●	●
NICHINO AMERICA, INC.		●

米国への輸出製品（例）



関税10%

影響は限定的に留まる見通し

追加関税

これからお客様と交渉

2025年度 連結業績予想

2025年度 連結業績予想

(単位：億円)	2025年度 予想			2024年度 実績	増減	増減率 (%)
	上期	下期	通期			
売上高	2,070	2,340	4,410	4,071	338	8.3
営業利益	183	247	430	410	19	4.9
経常利益	183	247	430	393	36	9.3
当期利益	121	143	264	250	13	5.5
1株利益	118.9円	140.6円	259.5円	245.6円	13.9円	

		2025年度上期の前提	2024年度 実績
為替	円/\$	150.00	152.62
	円/€	157.00	163.82
ナフサ	円/KL	70,000	73,659

為替感応度 (年度)	営業利益に対する 1円・円高影響
△ 1億円	
△ 0.3億円	

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

2025年度 連結業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)	上期予想	下期予想	2025年度	2024年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,070	2,340	4,410	4,071	338	8.3
化学品	1,189	1,227	2,416	2,184	231	10.6
樹脂添加剤	588	582	1,170	1,054	115	10.9
半導体材料	179	199	378	340	37	11.1
環境材料	422	446	868	789	78	9.9
食品	424	429	853	825	27	3.3
ライフサイエンス	429	646	1,075	999	75	7.5
その他	28	38	66	62	3	6.1
営業利益	183	247	430	410	19	4.9
化学品	151	158	309	280	28	10.2
樹脂添加剤	61	57	118	108	9	8.4
半導体材料	40	49	89	90	△ 1	△ 1.8
環境材料	50	52	102	80	21	26.3
食品	20	24	44	43	0	0.2
ライフサイエンス	10	62	72	77	△ 5	△ 7.3
その他	2	3	5	8	△ 3	△ 39.1

注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

化学品事業（樹脂添加剤）

FY2024 対 FY2025

製品全般の需要回復が続き、増収・増益の見通し

売上高
増収



● 食品包装 / 自動車部材

透明化剤

新規透明化剤

「アデカトランスパレックス」
の本格販売

● 家電 / 自動車部材

イントメッセント系難燃剤

- ✓ 米国・韓国での販売拡大
- ✓ アンチモン代替需要の獲得

営業利益
増益

増収効果

コストダウン徹底 / 販売価格適正化

原材料価格高騰

化学品事業（半導体材料）

FY2024 対 FY2025

先端半導体向けを中心に需要は堅調、
“次世代向け製品”等の設備償却もあり微減益の見通し

先端レジスト／EUV露光

半導体リソグラフィ材料
(光酸発生剤+周辺材料)

先端ロジック／配線ほか

高誘電材料（ALD材料）

順調に拡大する見込み

先端メモリ／成膜

高誘電材料（ALD材料）

先端向けでトップシェア堅持

数量	価格		新製品
	FY2025	FY2024/4Q	FY2025/2H以降
見通し →	→	→	→

売上高
増収

営業利益
微減益

固定費の増加

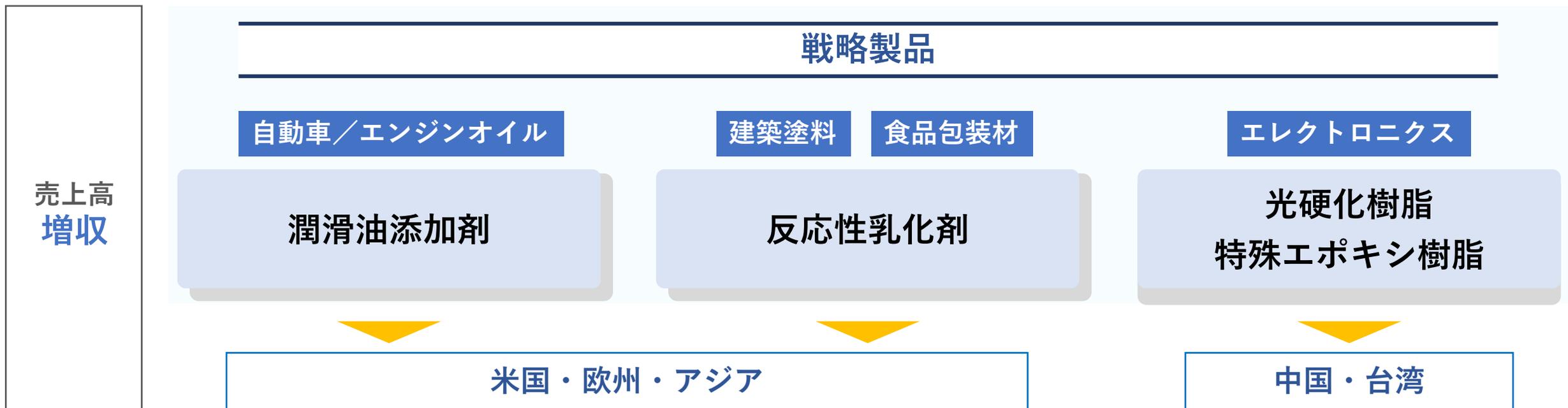
- ・ 研究人員強化
- ・ 設備償却（メモリ/ロジック向け材料）

新製品効果（メモリ向け新規材料）

販売価格の低下（メモリ向け一部材料）

FY2024 対 FY2025

グローバル展開の加速による戦略製品の販売拡大、増収・増益の見通し



売上高
増収

営業利益
増益

増収効果

固定費の増加

- ・ 電池材料の研究開発費等
- ・ 設備償却（高純度過酸化水素）

FY2024 対 FY2025

練り込み油脂等の高機能製品や
プラントベースフードの販売拡大により、増収・微増益の見通し

原材料不足・高騰

製パン、製菓、洋菓子

売上高
増収

バター
カカオ
動物脂
卵
etc.

バター
代替機能

練り込み油脂

卵
代替機能

プラントベースフード
「デリプランツ EG-W」

インバウンド／海外販売拡大

製パン、洋菓子、土産

需要拡大

フィリング

冷凍耐性

プラントベースフード
「デリプランツ ホイップEX」

営業利益
微増益

高機能製品の拡大

コストダウン徹底／販売価格適正化

原材料価格高騰

ライフサイエンス事業（日本農薬）

FY2024 対 FY2025

自社開発品目の拡大やインドでの販売回復に取り組み増収、
研究開発強化に伴う固定費増もあり減益見通し

農薬／日本・北米

農薬／インド

売上高
増収

自社開発品目を中心とした販売拡大

ニチノーインドの再建策実行

果樹・野菜市場への展開加速

- ✓ マーケティング戦略再構築
- ✓ 購買・製造工程見直し

営業利益
減益

新薬登録の前倒し（登録申請費）など

海外農薬販売の増益

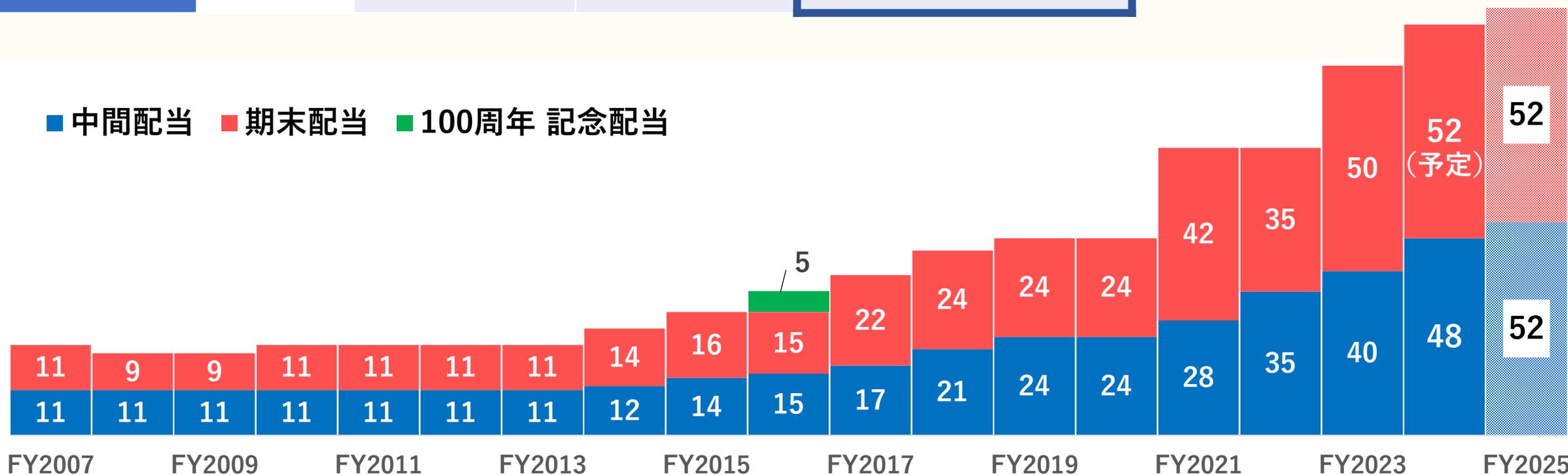
2025年度 年間配当予想

		2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
年間配当	(円/株)	90	100	104
配当性向	(%)	40.0	40.7	40.1

<年間配当>

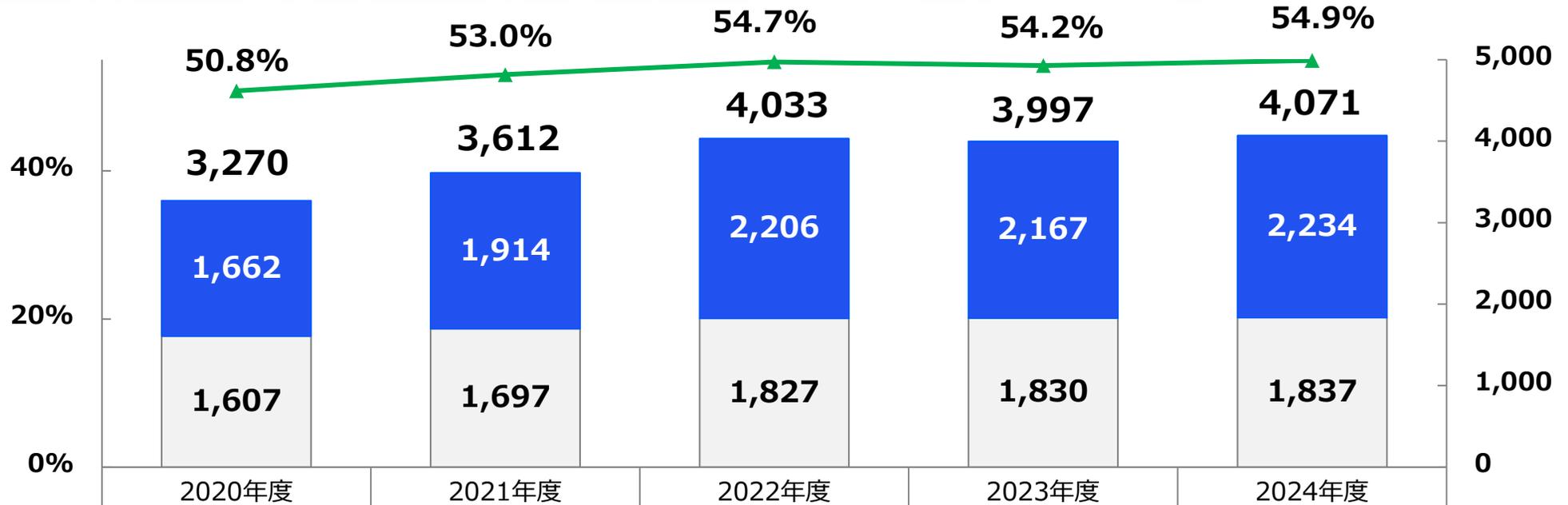
3期連続 **増配**
17期連続 **減配なし**

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 100周年 記念配当



海外売上高

(単位：億円)



■ 海外売上高	1,662	1,914	2,206	2,167	2,234
■ 国内売上高	1,607	1,697	1,827	1,830	1,837
▲ 海外売上高比率	50.8%	53.0%	54.7%	54.2%	54.9%
売上高	3,270	3,612	4,033	3,997	4,071

注1) 金額は億円未満を切り捨て、海外売上高比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

3. 中期経営計画『ADX 2026』の進捗

ADX 2026

さらなる変革を
実行する3年間

ADEKA VISION 2030
～持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する
Innovative Company～

- ADEKA VISION 2030の実現に向けたセカンドステージ
- 利益と効率性に重点を置き、稼ぐ力を高める3年間
- 成長戦略としてサステナビリティを推進し、
さらなる変革を実行する3年間

バックキャスト

ADX 2026

成長戦略として
サステナビリティ推進

ADX 2023

社会価値 + 経済価値

基本方針

サステナビリティの推進により、
社会価値の向上と持続的な成長を実現する
～稼ぐ力・サステナビリティ・強靱な経営基盤～

基本戦略

稼ぐ力の強化、
高収益構造への転換

環境貢献製品の拡大、
および事業構造の変革
によるGHG削減

経営基盤の強靱化

経営目標と初年度の実績

		2024年度 実績	2025年度 予想	2026年度目標
財務指標	営業利益	410億円 (売上高 4,071億円)	430億円 (売上高 4,410億円)	530億円 (売上高 5,000億円)
	ROE	8.6%	8.9%	11.0%
	ROIC	9.1%	—	10.5%
サステナビリティ 指標	環境貢献製品売上高	868億円	—	1,150億円
	GHG排出量	213千t-CO2e	—	199千t-CO2e
	女性管理職比率	5.8% (単体)	—	6%以上 (単体)
設備投資額		186億円	200億円	750億円 (3カ年)
配当方針 (配当性向)		40.7%	40.1%	40%以上

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

営業利益目標（セグメント別）

組織再編に伴い「半導体材料」「環境材料」の計画値を変更、全社トータルの計画値は変更なし

（単位：億円）

2026年度＜変更後＞

	営業利益	売上高
全社	530	5,000
化学品	364	2,763
樹脂添加剤	109	1,332
半導体材料	125	499
環境材料	130	932
食品	62	928
ライフサイエンス	97	1,200
その他	5	106

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

＜変更前＞

	営業利益	売上高
全社	530	5,000
化学品	364	2,763
樹脂添加剤	109	1,332
情報・電子化学品	153	626
機能化学品	102	805
食品	62	928
ライフサイエンス	97	1,200
その他	5	106

営業利益目標に対する進捗評価（セグメント別）

前提条件【為替】
138円/US \$,149円/€

○：計画値に過達 △：計画値に未達

(単位：億円)

	2026年度 (最終年度目標)
営業利益	経営目標 530
化学品	364
樹脂添加剤	109
半導体材料	125
環境材料	130
食品	62
ライフサイエンス	97
その他	5

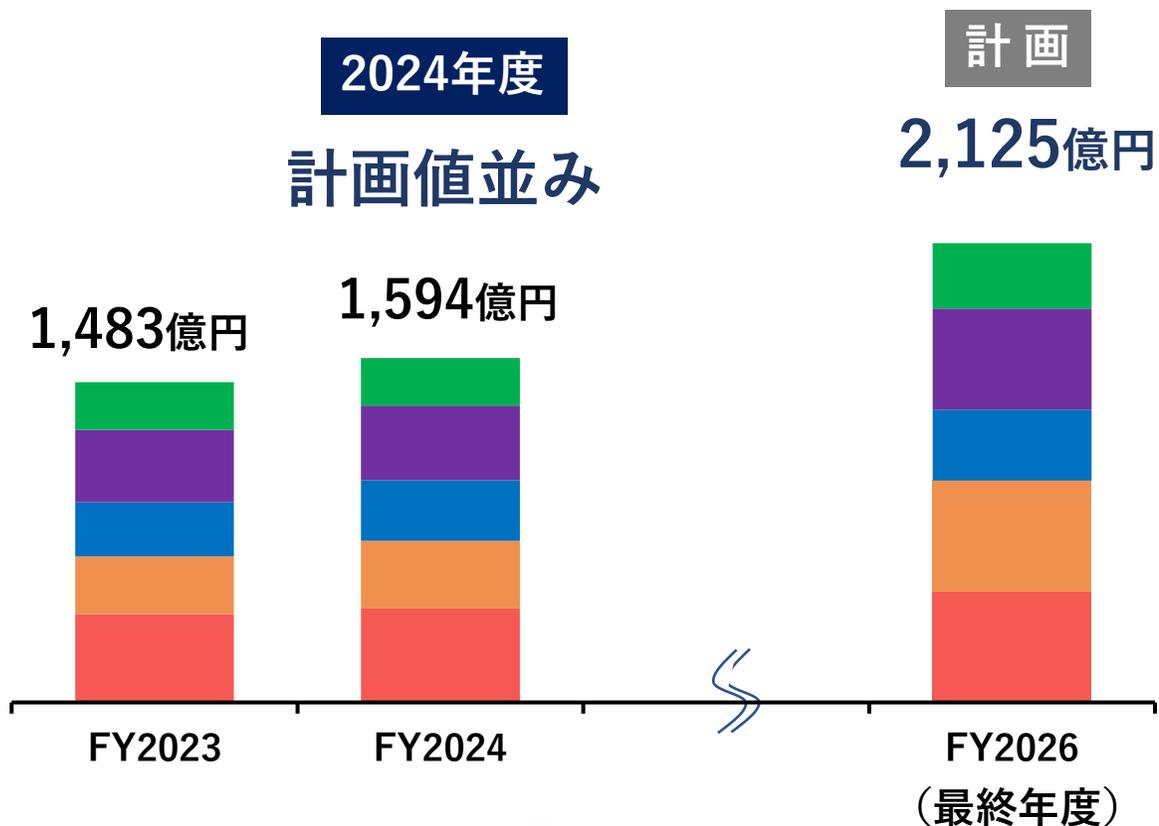
2024年度 実績 (初年度)	初年度の 進捗評価	2025年度 連結業績予想
410	○	430
280	○	309
108	○	118
90	○	89
80	○	102
43	○	44
77	○	72
8	○	5

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

戦略製品

戦略製品 売上高 (25製品群)

■ 樹脂添加剤 ■ 半導体材料 ■ 環境材料 ■ 食品 ■ ライフサイエンス



計画を上回った製品 (一例)

樹脂添加剤

自動車

光安定剤

紫外線によるプラスチックの劣化を防ぐ樹脂添加剤

半導体材料

半導体メモリ

ALD材料
(高誘電材料等)

キャパシタに原子レベルの極めて薄い膜を形成する材料

環境材料

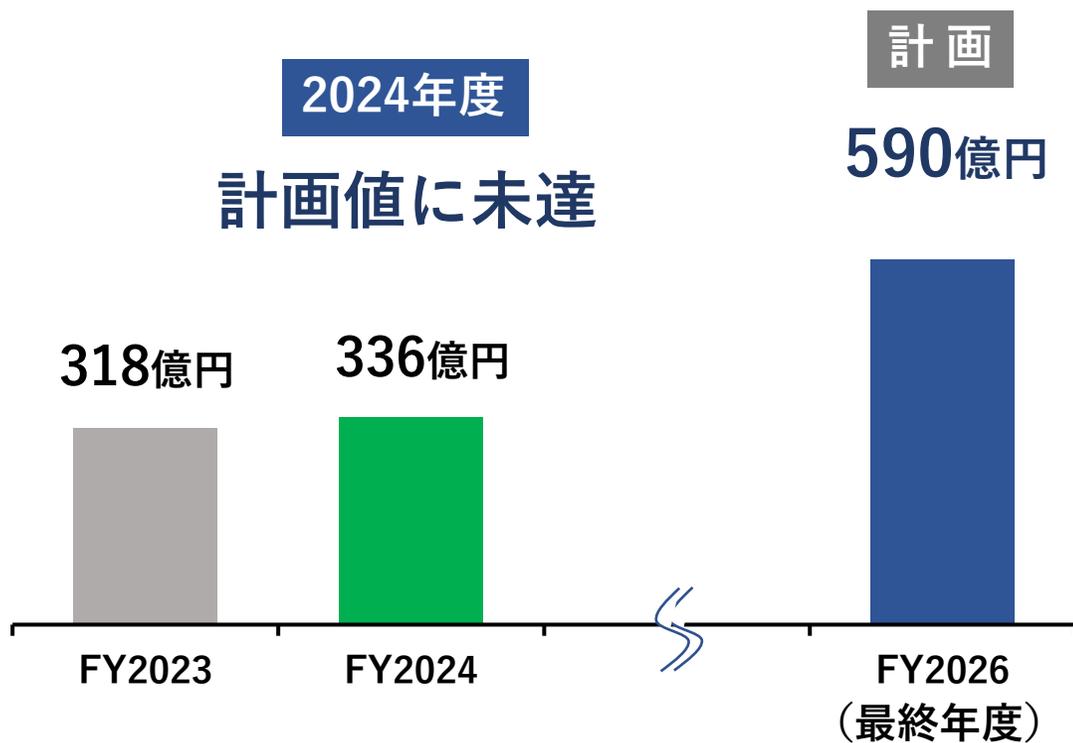
エレクトロニクス

接着材料

熱硬化/UV硬化技術を活用した接着・接合材料

新製品

新製品 売上高



計画との乖離が大きかった製品

環境材料

ディスプレイ

光硬化樹脂

ディスプレイに使用される光学フィルムのハードコートや光学フィルムの貼り合わせで用いられる材料

2024年度

中国市場での採用遅れ



材料評価、ラインテストは進捗
2025年度に挽回

ROIC

ROIC（投下資本利益率）

目標 **10.5%** (FY2026)

(単位：%)	FY2023 実績	FY2024 実績
全社	8.3	9.1
樹脂添加剤	6	8
半導体材料	13	13
環境材料	6	8
食品	5	6
ライフサイエンス	3	4

注）ROIC（投下資本利益率）：営業利益×（1－税金負担率）÷投下資本（期首・期末平均）

2024年度（中計初年度）

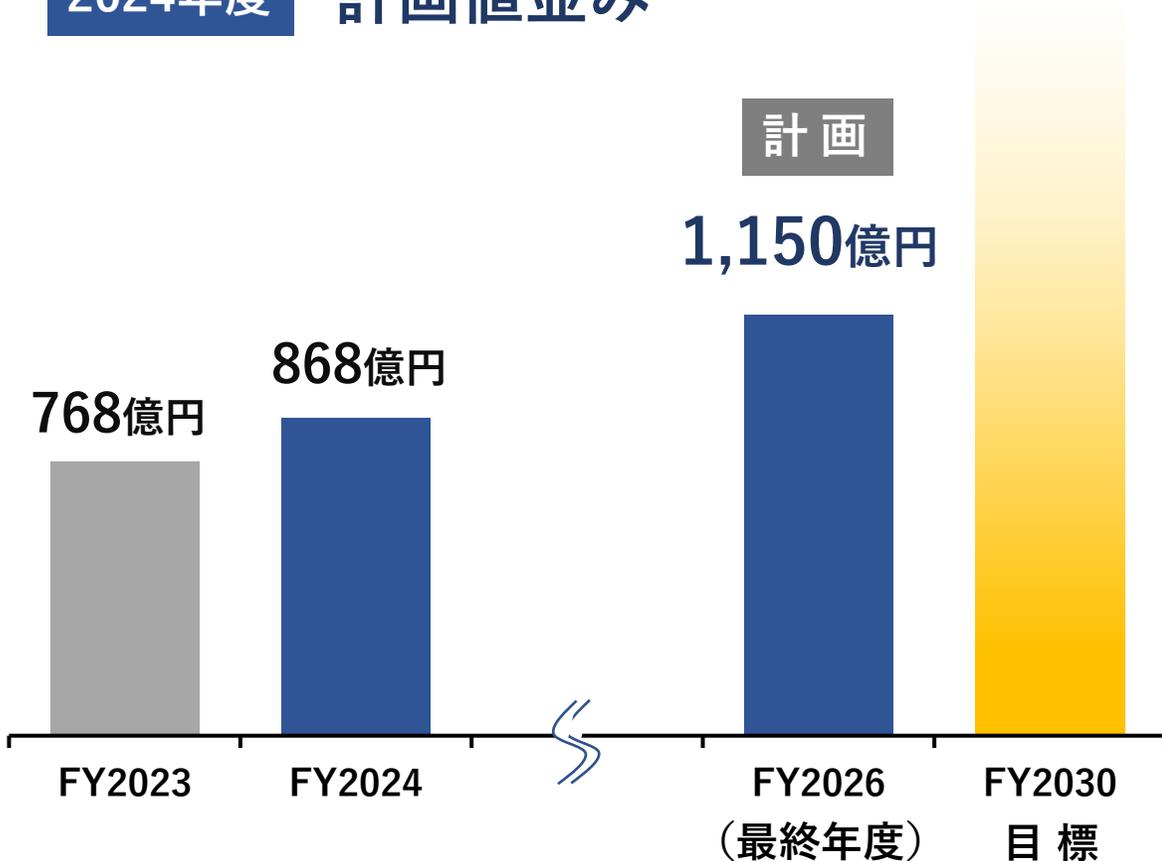
- ✓ 営業利益の増加
- ✓ 遊休資産の売却・処分
- ✓ 有利子負債の圧縮：98億円削減
- ✓ 事業別ROIC管理の高度化
 - マネジメント方針の策定
 - ROICツリーの設計
 - 経営管理システムの構築

環境貢献製品の拡大と創出

環境貢献製品（売上高）

2024年度 計画値並み

2,014億円



計画を上回った製品（一例）

環境材料

省燃費／CO₂排出低減

摩擦低減潤滑材料

エンジンオイルに添加することでエンジン内部の摩擦・摩耗低減

食品

環境保護／生態系の保全

R S P O等認定製品

持続可能な方法で生産されたパーム油を含む油脂加工製品

樹脂添加剤

省燃費／CO₂排出低減

自動車部材用核剤

強くて軽いプラスチックでクルマの軽量化を実現する樹脂添加剤

設備投資計画

(単位：億円)

	投資金額
全社 (3カ年)	750

工場投資	樹脂添加剤	62
	半導体材料	158
	環境材料	44
	食品	101
	ライフサイエンス	42
	その他	50
研究投資 ^{*1}	197	
共通・その他 (一般、販売、システム他)	92	

	投資金額
2024年度 (投下ベース)	186

維持更新投資
が中心

- 樹脂添加剤
- 環境材料
- 食品
- ライフサイエンス

- 半導体材料
- 環境材料

新規投資は遅延も前中計での設備投資が完工・稼働



先端ロジック向け材料
【建屋・プラント新設】



先端メモリ向け材料
【能力増強】



半導体向け
高純度過酸化水素
【プラント新設】

*1 久喜地区開発研究所の新研究棟建設費 (約100億円/2026年度完工) 含む

*2 金額は億円未満を切り捨てて表記

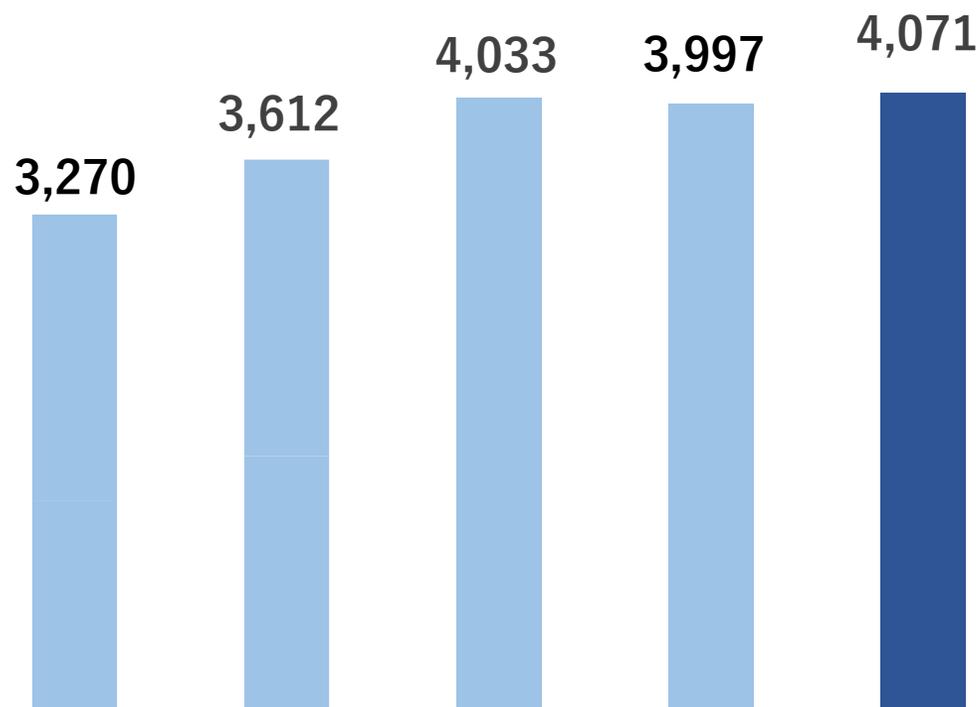
The logo features a stylized letter 'A' on the left, composed of a red upper half and a blue lower half. To the right of the 'A' is the word 'DEKA' in a bold, red, italicized sans-serif font. The entire logo is centered horizontally.

ADEKA

Add Goodness

売上高

(単位：億円)



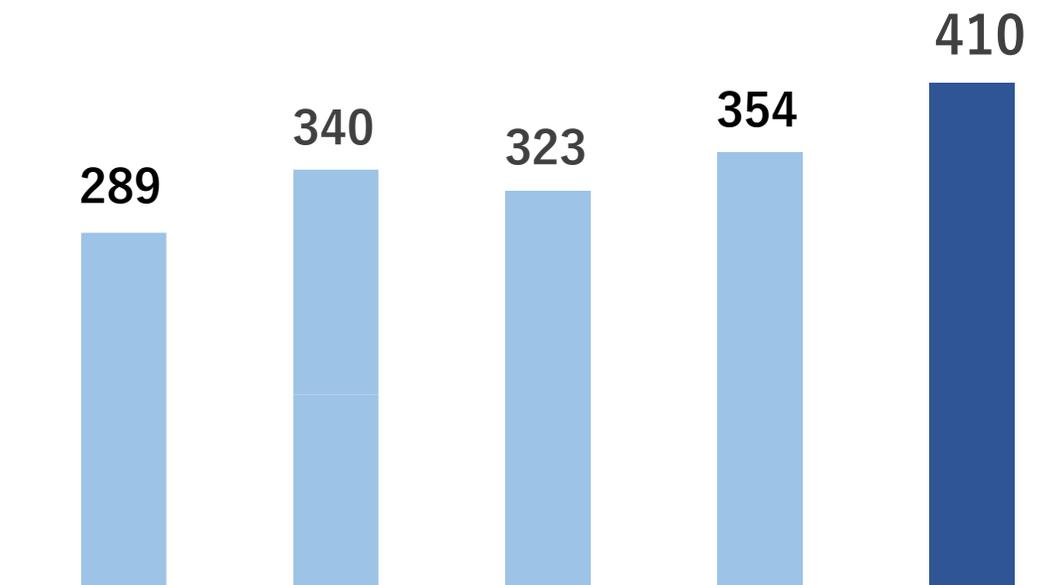
2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

営業利益

(単位：億円)



2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

ご参考 | 連結対象範囲の変更（連結子会社の増減）

ご参考
2024年度 連結業績

● 化学品 ● 食品 ● ライフサイエンス事業

2024年度

1社「増」

3社「減」

増	● NICHINO VIETNAM CO.,LTD.	重要性が増したため、 持分法適用会社から連結子会社に変更
減	● 株式会社クラウン	2024年4月1日 ADEKA食品販売(株)を存続会社、 (株)クラウン、(株)ヨンゴを消滅会社として合併
減	● 株式会社ヨンゴ	
減	● 艾迪科精細化工（上海）有限公司	2025年1月6日 中国の上海圣奎塑業有限公司に出資持ち分を譲渡

事業基盤を強化し、社会価値と経済価値を両立させたグローバルで存在感のある事業を目指す

トピック

トップシェア製品の育成・強化 | 新規透明化剤「アデカトランスパレックス」

2024年度

新製品発表後、
150社を超える企業から好反応樹脂メーカー/コンパウンダー/成形メーカー/原料メーカー/
ライセンサー/試験機関など

市場開拓

食品包装材、自動車部材、医療部材、化粧品容器など



米国での新製品発表会の様子（2025年2月）

世界シェアトップを目指し、米国・アジアから販売開始しグローバル展開へ

2030年までに透明化剤の 連結売上高 300億円、世界シェアNo.1を目指す

既存品を凌駕する、
圧倒的な透明性

ポリプロピレン向け透明化剤
✓ シェア奪取

■ 当社シェア（グローバル）

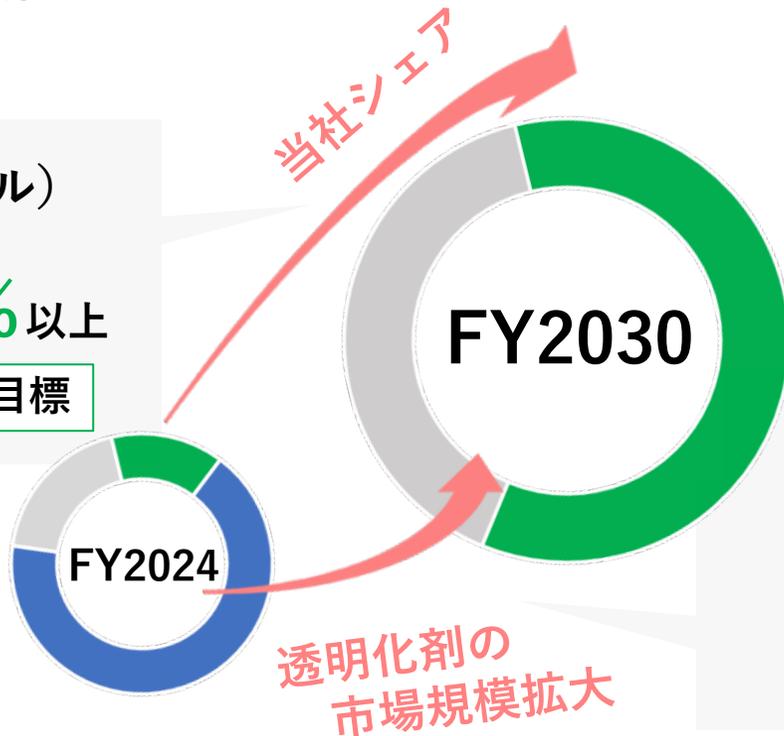
14%

2024年度



60%以上

2030年目標



“超高透明”な
ポリプロピレンの実現

透明樹脂からの代替を可能に
✓ 新規市場の獲得

■ 透明化剤の市場規模（グローバル）

300億円

2024年度



500億円超

2030年目標

最先端半導体を“素財”でリードし、サステナブル社会を支えるSociety 5.0 を実現

トピック

半導体リソグラフィ材料「アデカアークルズ」の開発強化

■ 半導体市場の技術トレンド

Year	2022-2023	2024-2025	2027-2028	2029~
Node	N3	N2	A14	A10
Device				
EUV パターニング技術	EUV MP		EUV MP 高NA EUV	
レジスト	CAR	CAR(+MOR)	CAR+MOR	CAR+MOR

CAR: 化学増幅型レジスト MOR: 金属酸化物レジスト

<開発方針>

研究開発からのシームレスな量産化

2025年4月 千葉工場に「千葉分室」を新設

工場×研究
(連携)

量産立ち上げ期間
短縮化

従 前	千葉分室	
少量	サンプル対応	少量・中量
ラボ→実機へ	スケールアップ	実機スタート

モビリティ・エレクトロニクス・GX*関連への経営資源集中と事業構造改革

トピック

海外展開の推進 | 潤滑油添加剤「アデカサクラール」

■ 潤滑油添加剤の潜在市場



- ■ アフターマーケット/交換用オイル (AM油)
- ■ ファクトリーフィル/新車充填油 (FF油)

サプライチェーン (当社想定)



■ ■ FF油の販売拡大

■ ■ AM油の市場確立

2024年度

中国・米国での販売が拡大

パッケージ向け配合処方完了

2025年度

全世界を販売ターゲットに、さらなる販売拡大、パートナー企業との協業に注力

*グリーンTRANSフォーメーション

競争力のある戦略製品を中心にグローバル展開を加速、海外営業利益比率を向上させる

トピック

環境貢献製品の拡大

おいしさ持続、食品ロス削減に貢献する機能性油脂

「マーベラス」シリーズ

2025年度 新製品「マーベラスLG」

油脂の高分散力により低グルテン粉原料でもボリュームのあるソフトな食感のパンを実現

米粉、雑穀など多様な粉原料に活用できる
“高機能油脂”で健康志向のニーズに対応

海外市場／ターゲット領域の拡大

食の多様性や環境に配慮したプラントベースフード

「デリプランツ」シリーズ

2024年度

販売

市場開拓

- ✓ シンガポール拠点「PBF」チーズの製造・販売開始
- ✓ インド最大の食品展示会「World Food India 2024」出展

2025年度

アジアに加え、
北米・欧州での市場開拓を加速

現有拠点を活用し、市場成長が著しいアジア、中南米での販売拡大に取り組む

トピック

事業と収益の拡大

重点品目・新規事業の拡大

重点品目



エリア戦略

除草剤

ピラフルフェンエチル

欧州・北米

2024年度

特にカナダで大きく拡大

2025年度

「殺虫剤 × アジア」
での販売回復に注力

新たな収益源の創出

バイオリソース活用

2023年10月～販売開始

微生物資材“クロスバリュー®”

微生物の力で環境ストレスに強い
作物づくりに貢献する農業資材

生物農薬・作物保護資材の
ポートフォリオ拡大を推進

2024年度

「新規微生物殺菌剤」の権利取得*

*知的財産権、登録開発販売権

GHG排出量

目標

199千t-CO₂e

(2020年度比 13%削減)

2024年度

2023年度比で減少も
計画値には未達

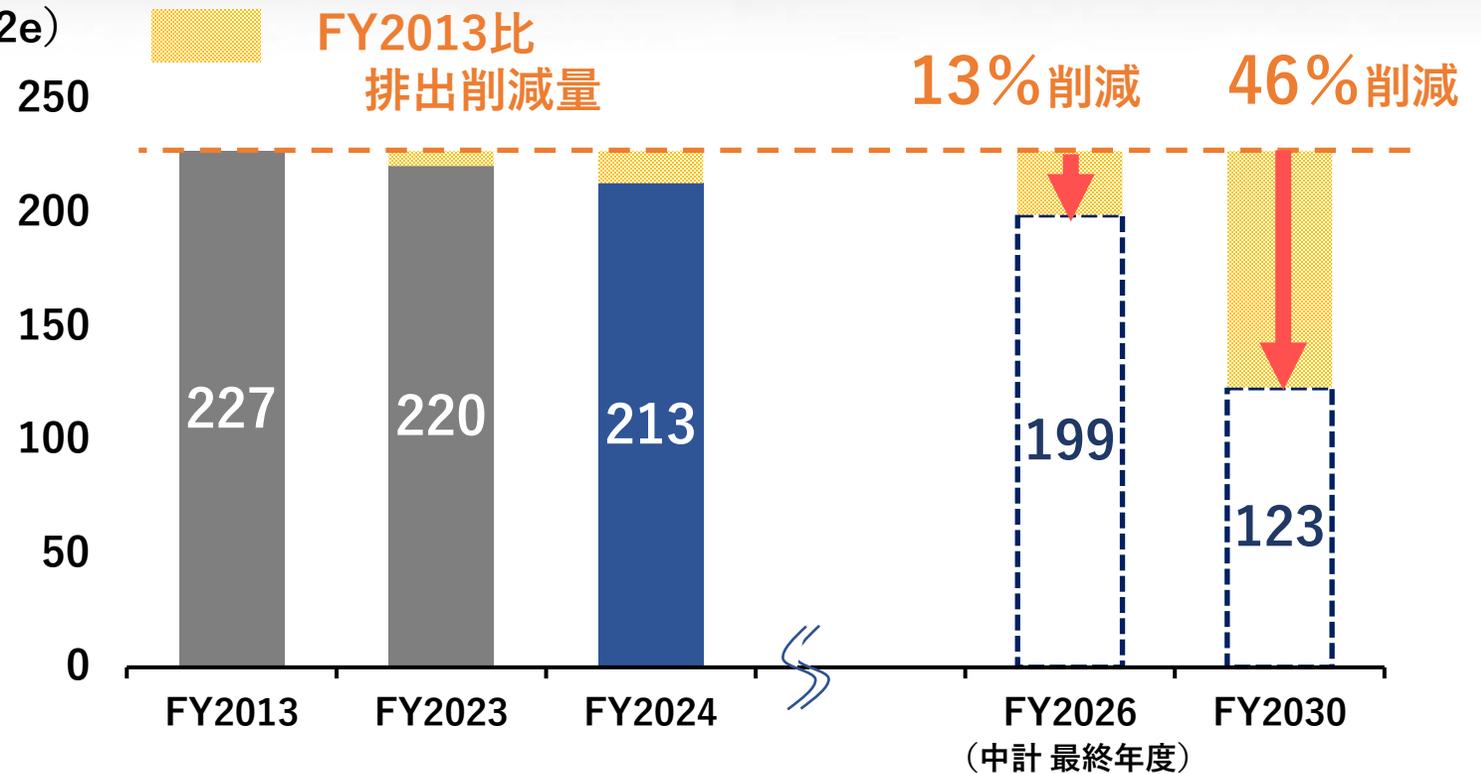
2024年度の主な取り組み

省エネの推進
再生可能エネルギーの導入

- 三重工場 太陽光発電設備の設置・受電開始
- 千葉工場 コージェネレーションシステム運用開始
- 相馬工場 LNGへの燃料転換の設計完了

LNG: 液状天然ガス

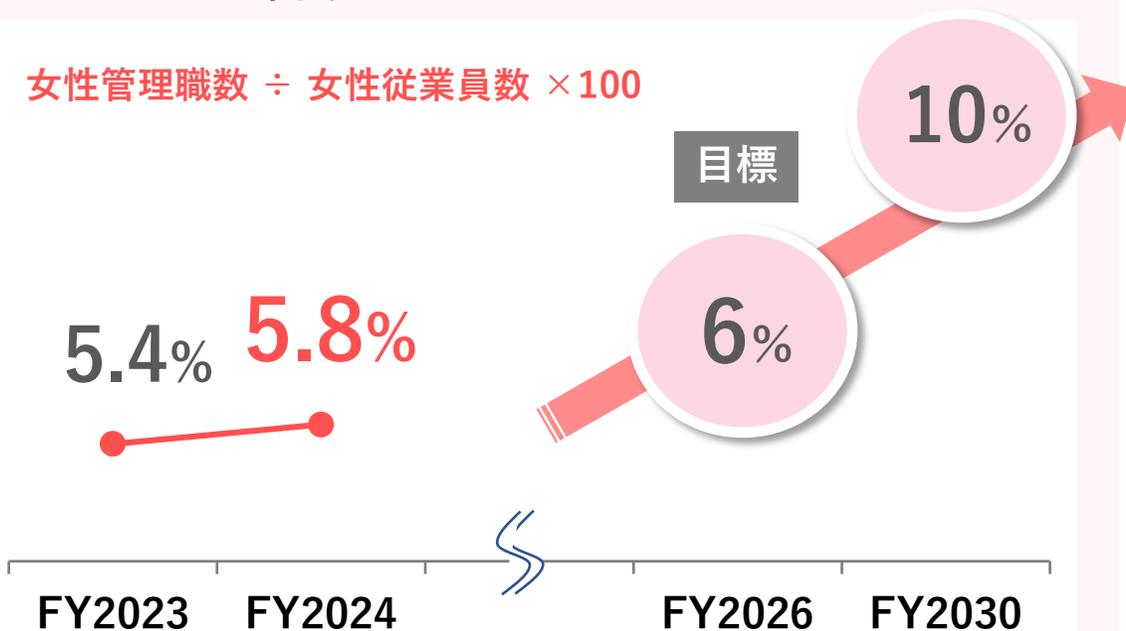
(千t-CO₂e)



女性管理職比率

* ADEKA 単独

女性管理職数 ÷ 女性従業員数 × 100



女性活躍を重点に置いたDE & Iの取組みを推進

人権の尊重

人権デュー・ディリジェンス

化学品事業 ▶ 「人権への影響評価」実施

「労働者の健康と安全（安全衛生）」に
取り組んでいく

健康経営の推進

「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）
ホワイト500」に初認定



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

サプライチェーンの強靱化

事業戦略に沿った重要原料の把握と調達確保

半導体材料

環境材料

複数購買化に向けた
原料評価が完了
正式採用へ

人的資本向上に向けた取り組み

エンゲージメントの強化

第2回
エンゲージメントサーベイ実施

<総合的満足度>

67% ▶ 68%*

*「総合的満足度」でのポジティブ回答率

DX推進

デジタル技術を活用した業務プロセスの効率化

- 基幹システムの機能拡充
- 全社での生成AI活用
etc.

- サプライチェーン管理
- 品質管理
- 人事・経理システムなど

ご参考 | 中期経営計画 売上高 (セグメント別)

前提条件【為替】
138円/US \$,149円/€

○ : 計画値に過達 △ : 計画値に未達

(単位: 億円)

	2026年度 (最終年度目標)	2024年度 実績 (初年度)	初年度の 進捗評価	2025年度 連結業績予想
売上高	5,000	4,071	△	4,410
化学品	2,763	2,184	△	2,416
樹脂添加剤	1,332	1,054	△	1,170
半導体材料	499	340	△	378
環境材料	932	789	○	868
食品	928	825	△	853
ライフサイエンス	1,200	999	△	1,075
その他	106	62	△	66

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2024年度

決算説明補足資料

取締役兼執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1-1 連結貸借対照表

(単位：億円)

	24/3末	25/3末	増減		24/3末	25/3末	増減
流動資産	3,465	3,498	32	負債	2,033	1,913	△ 120
現金及び預金	984	1,101	116	流動負債	1,344	1,222	△ 121
受取手形及び売掛金等	1,169	1,100	△ 68	固定負債	689	690	1
棚卸資産	1,146	1,133	△ 12	純資産	3,396	3,517	120
その他	166	163	△ 2	株主資本	2,529	2,668	138
固定資産	1,964	1,932	△ 32	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,268	1,258	△ 9	資本剰余金	201	203	1
無形固定資産	164	146	△ 18	利益剰余金	2,131	2,281	149
投資その他の資産	531	527	△ 4	自己株式	△ 33	△ 46	△ 12
				その他の包括利益累計額	321	298	△ 23
				非支配株主持分	545	550	5
資産合計	5,430	5,431	0	負債・純資産合計	5,430	5,431	0

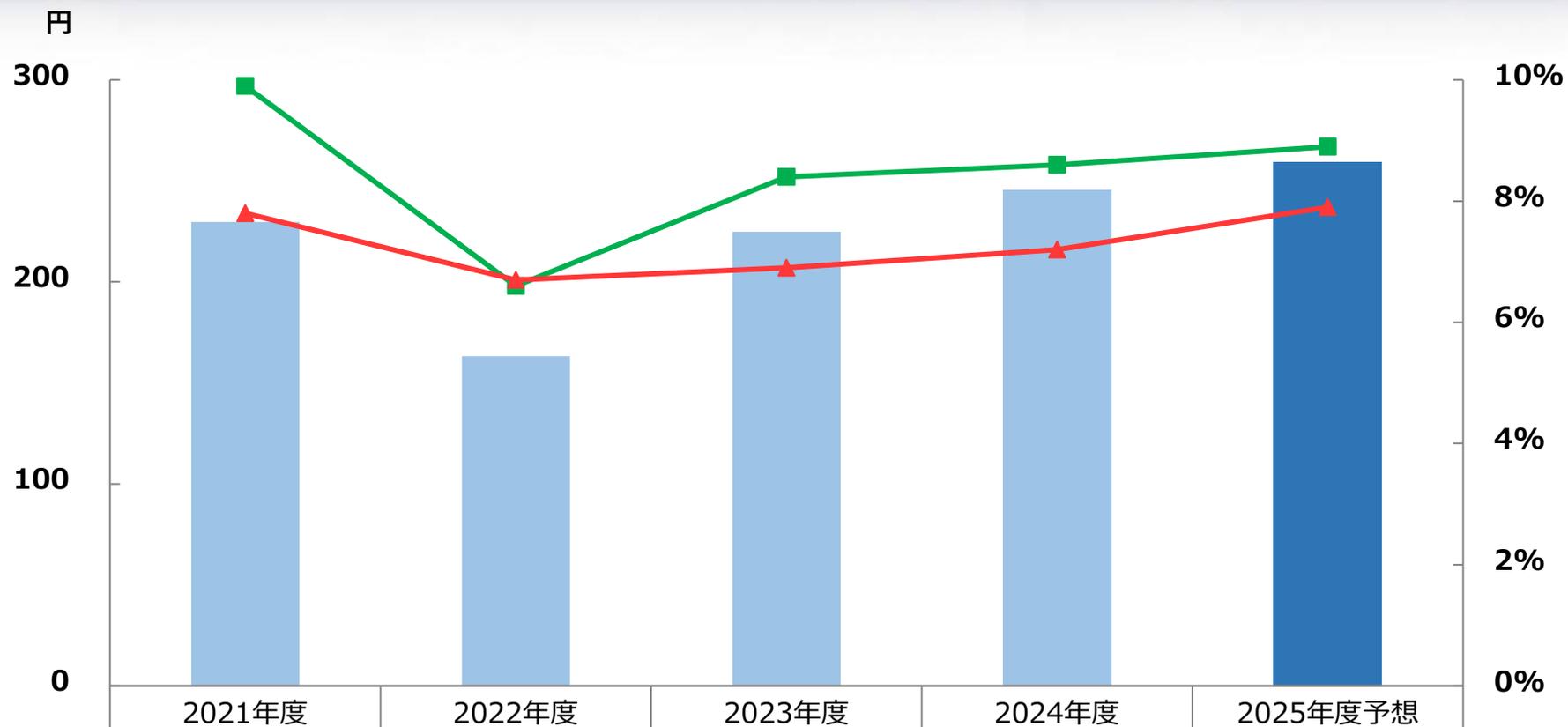
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

1-2 キャッシュフロー計算書 (要約)

(単位：億円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	419	462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 230	△ 125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 45	△ 222
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△ 13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	173	100
現金及び現金同等物の期首残高	795	969
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	8
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の期末残高	969	1,077

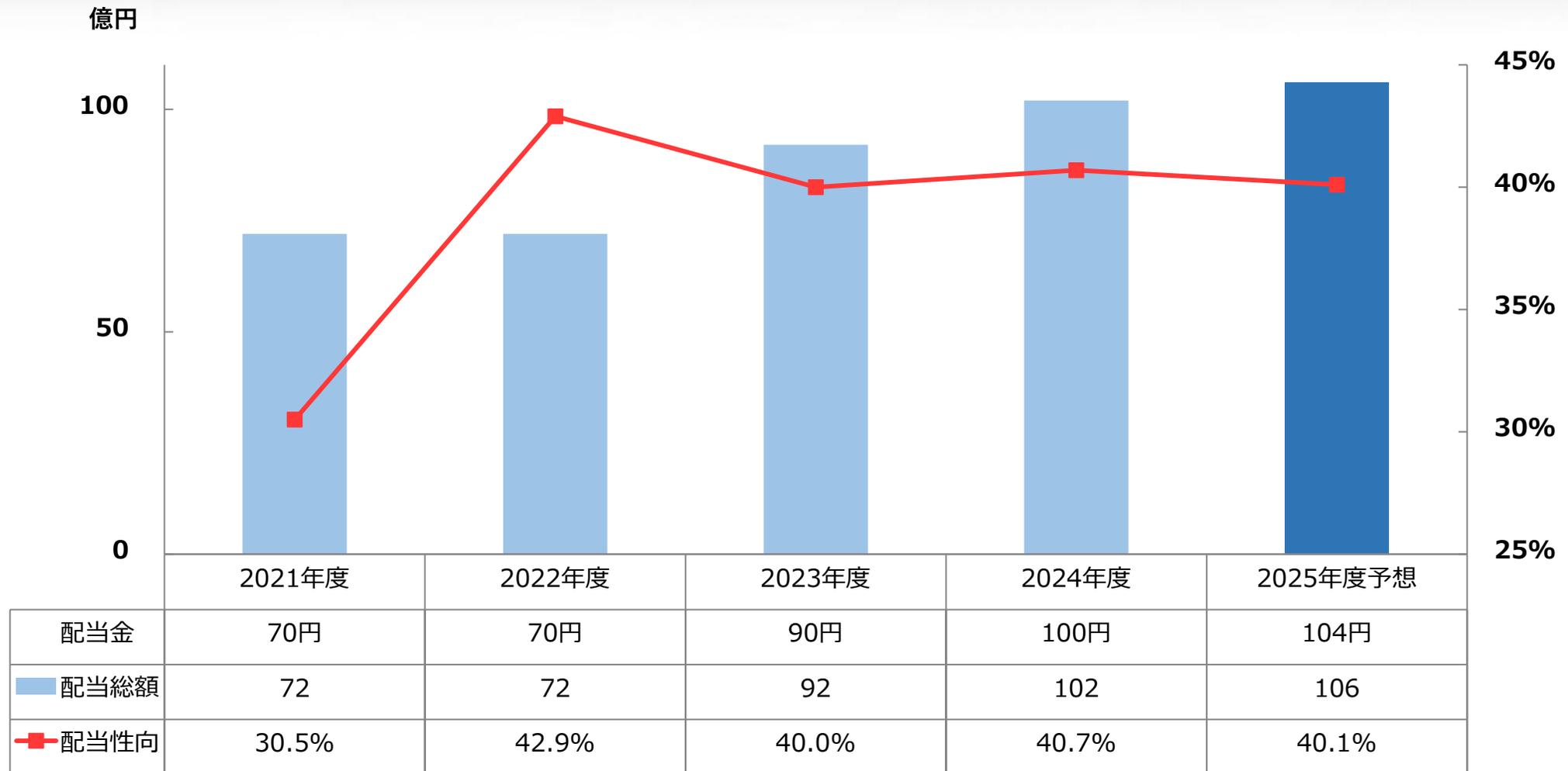
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



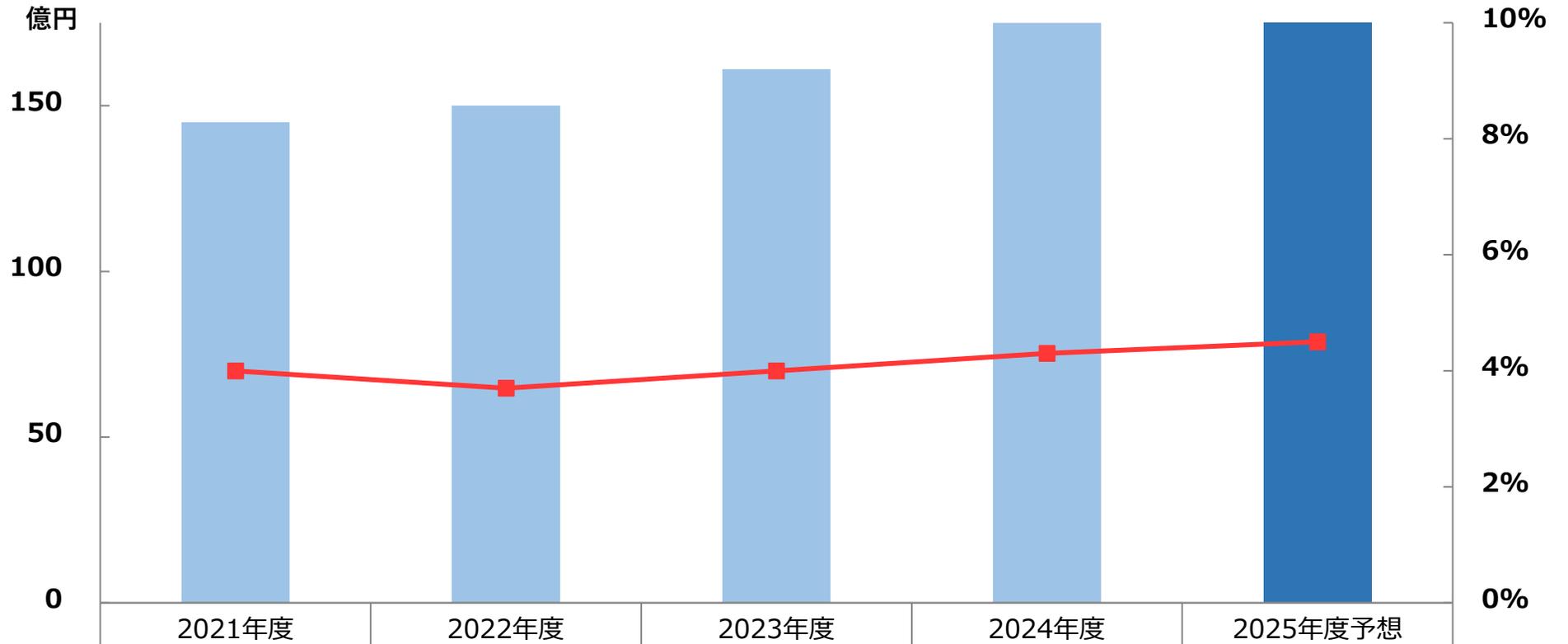
注1) 数値は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2-2 配当金、配当性向



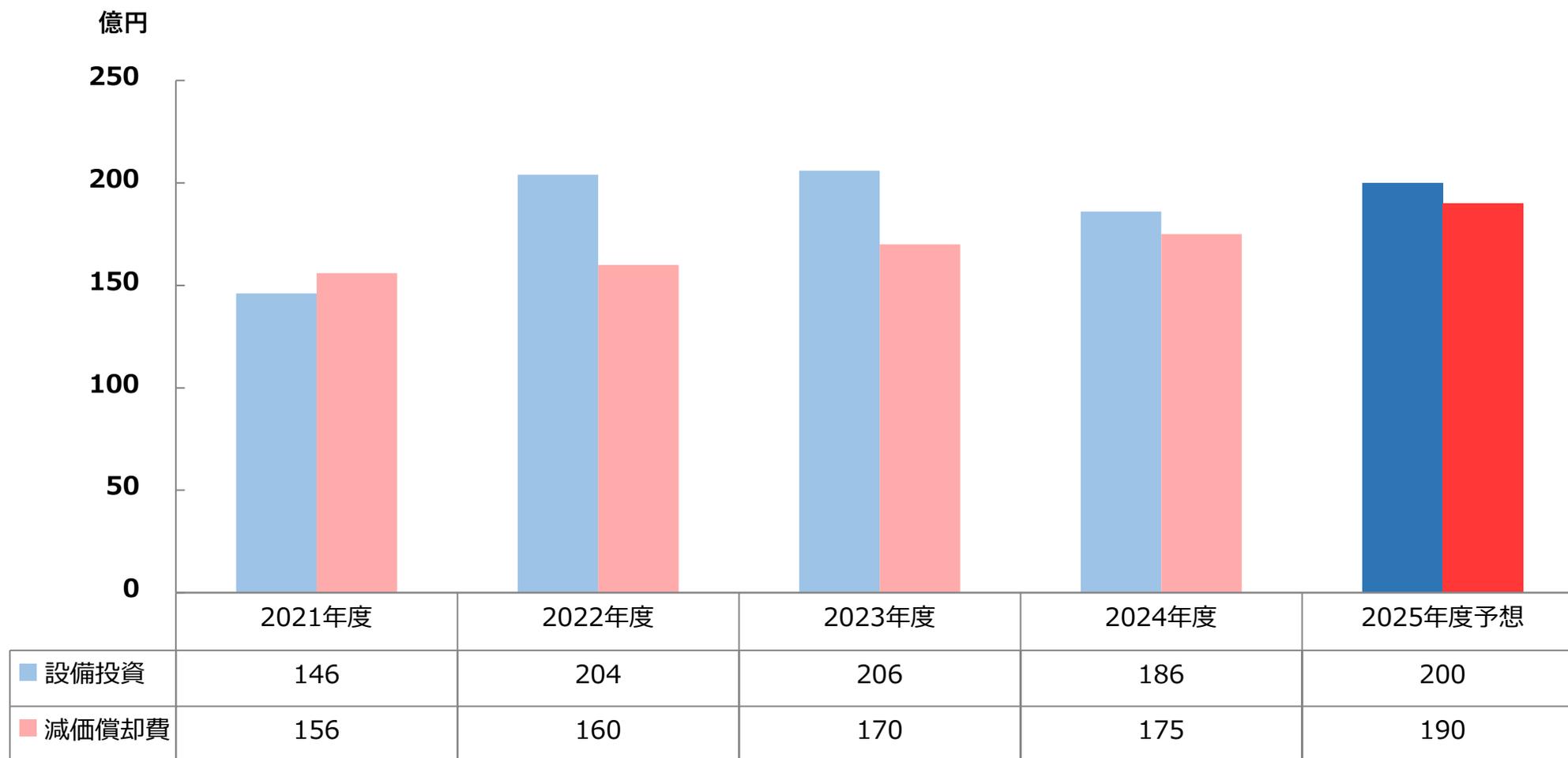
注1) 配当総額は億円未満を切り捨て、配当性向は小数点第2位を四捨五入して表示
 注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



■ 研究開発費	145	150	161	175	197
■ 売上高研究開発費比率	4.0%	3.7%	4.0%	4.3%	4.5%

注1) 研究開発費は億円未満を切り捨て、売上高研究開発費率は小数点第2位を四捨五入して表示

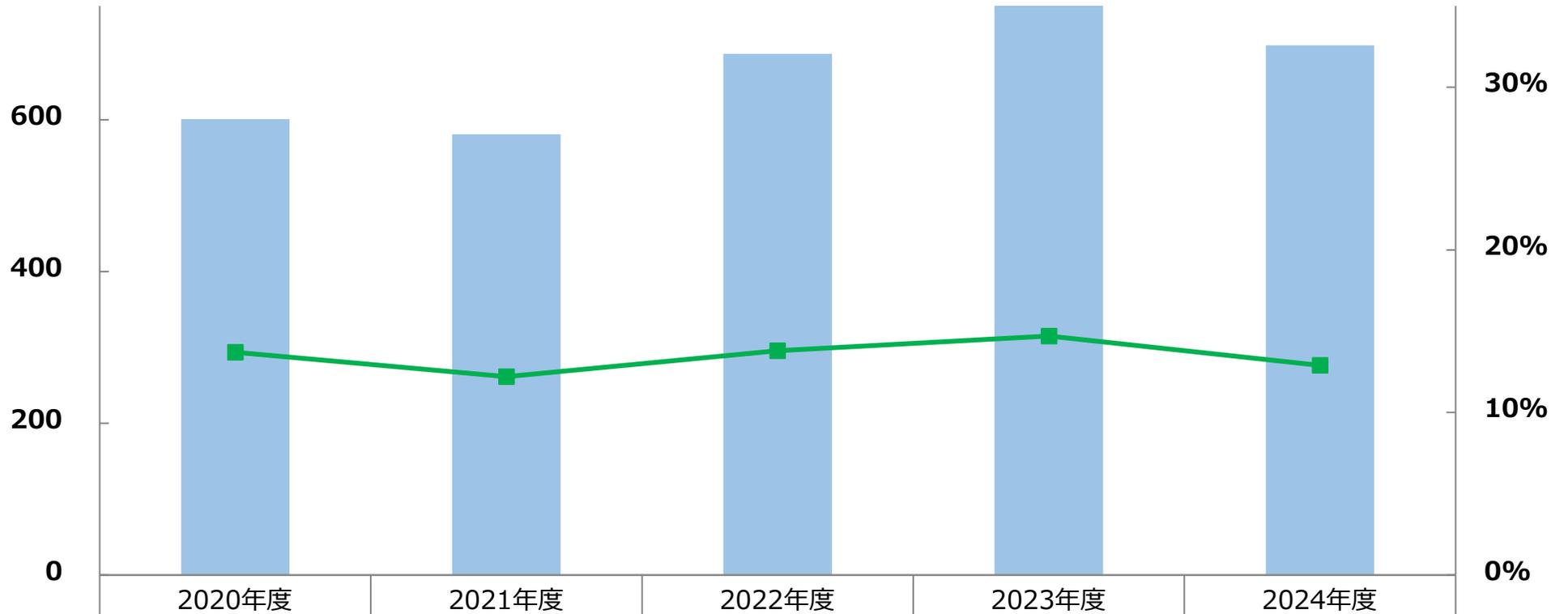
注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債

億円



有利子負債	601	581	687	796	698
有利子負債依存度	13.7%	12.2%	13.8%	14.7%	12.9%

注) 有利子負債は億円未満を切り捨て、有利子負債依存度は小数点第2位を四捨五入して表示

3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2024年度)

■ 単独 ■ 連結

(単位：億円)

単独決算

	2023年度	2024年度	増減	増減率(%)
売上高	1,536	1,610	74	4.8
営業利益	130	154	23	18.3
経常利益	234	258	23	9.9
当期純利益	188	214	26	13.9
1株当たり純利益	183.8円	210.0円		

国内(9社)

	2023年度	2024年度	増減	増減率(%)
売上高	972	955	△ 17	△ 1.8
営業利益	24	25	0	4.0

海外(18社)

	2023年度	2024年度	増減	増減率(%)
売上高	1,787	1,939	152	8.5
営業利益	139	154	15	10.8

日本農薬(11社)

	2023年度	2024年度	増減	増減率(%)
売上高	1,030	999	△ 30	△ 3.0
営業利益	74	85	11	15.3

連結調整

	2023年度	2024年度
売上高	△ 1,328	△ 1,433
営業利益	△ 14	△ 10

注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

3-2 連結子会社概要（国内14社）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	<u>上原食品工業(株)*</u>	<u>70百万円</u>	<u>100.00</u>	<u>フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造、販売</u>
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬の生産、受注、保管、配送の請負、不動産賃貸及び管理の請負、倉庫業など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験、環境保全に関するコンサルティングなど
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	シロアリ防除資材、防疫用殺虫剤の販売など
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	貨物運送取扱事業、産業廃棄物処理仲介業、物流資材販売
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKAライフクリエイイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

* 2025年4月1日付で上原食品工業株式会社の全株式を株式会社神戸物産に譲渡しました（2025年度から、同社を連結対象範囲から除外）。

3-3 連結子会社概要（海外23社①）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD.	3万£	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発、登録など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	農薬の生産、普及、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品および原材料の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料などの製造、販売

3-3 連結子会社概要（海外23社②）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤などの販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	液晶パネル関連薬剤の製造、販売、化学製品の輸入販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農薬股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の販売、普及、開発など
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	436万INR	100.00 (間接所有100.00)	農薬の生産、開発、販売など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	6億5,800万THB	81.00	樹脂添加剤の製造、販売、輸入販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800万SGD	100.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	食用加工油脂、マーガリン、ショートニング、ファットスプレッドの製造、販売
ベトナム	ライフサイエンス	NICHINO VIETNAM CO.,LTD.	226億8,000万VND	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学製品、食品の販売



3-4 持分法適用会社概要

国名	セグメント	持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
日本	化学品	(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
日本	化学品	昭和興産(株)	550百万円	21.43	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電子材料、環境関連の商材などの販売
日本	ライフサイエンス	タマ化学工業(株)	126百万円	33.43 (間接所有33.43)	医農薬中間体及びその他化学品の製造、販売
イタリア	ライフサイエンス	SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有20.00)	農薬の生産、販売
イギリス	ライフサイエンス	INTERAGRO (UK) LTD.	33,037 £	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
オランダ	ライフサイエンス	INTERAGRO NETHERLANDS BV	1€	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
ハンガリー	ライフサイエンス	IA AGRICULTURE HUNGARY KFT	300万HUF	100.00 (間接所有100.00)	INTERAGRO NETHERLANDS BVの業務管理
南アフリカ	ライフサイエンス	NICHINO SOUTH AFRICA (PTY) LTD.	0	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの販売、開発
マレーシア	ライフサイエンス	AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	農業資材の製造、販売

3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		半導体材料	高純度半導体材料、半導体リソグラフィ材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、その他
		環境材料	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、電池材料、光硬化樹脂、光開始材、画像材料、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他	
ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、医療材料、その他		
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

3-6 主な用途と製品例

● 樹脂添加剤 ● 半導体材料 ● 環境材料 ● 食品 ● ライフサイエンス

セグメント	マーケット	主な用途と製品例
化学品	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ● 内外装：核剤、光安定剤 ● ハーネス：塩ビ用安定剤 ● ゴム部材：可塑剤 ● エンジンオイル：潤滑油添加剤 ● 構造用接着剤：エポキシ樹脂 ● 車載用電子部品：エポキシ樹脂接着剤
	建築・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁紙・サッシ、パイプ：塩ビ用安定剤 ● 塗料：反応性乳化剤、水系樹脂 ●● 床材：塩ビ用安定剤、エポキシ樹脂
	半導体	<ul style="list-style-type: none"> ●● メモリ・ロジックIC：高誘電材料、半導体リソグラフィ材料、エッチング材料、過酸化製品
	エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> ●●● 光学フィルム：光安定剤、光硬化樹脂、水系樹脂 ● 筐体…難燃剤 ● カラーフィルター：光重合開始剤、BMレジスト ●● 基板：エッチング材料、過酸化製品
食品	量販店・コンビニ	<ul style="list-style-type: none"> ● パン・菓子：マーガリン、ショートニング、フィリング ● 洋菓子：ホイップクリーム ● 土産菓子：マーガリン、クリーム
	観光・外食産業	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル・カフェ・レストラン：プラントベースフード
ライフサイエンス	農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 水稲・園芸：殺虫剤、殺菌剤 ● 除草剤

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。